

# ほっとプラス

特定非営利活動法人松阪子ども NPO センター



2015年3月1日  
NO.72

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。今年度も最後の月、子どもたちの1年間を振り返ると、改めてその成長ぶりが実感できます。この時期の草木のように、新たな芽生えが楽しみです。

## ゆきあそびツアー

1月24日(土) 奥伊吹スキー場 参加人数: 27名

早朝、真っ暗な中バスは出発しました。そんなバスの中から津を超えたあたりで朝日が昇るのを目にした時は、歓声があがりました。

この日は晴天にも恵まれ、一般のお客さんも多い中、親子グレンデでは雪だるまなどを作る家族やそり滑りを何回も繰り返す小学生の姿がありました。

お母さんと子どもだけで雪あそびの体験ができるようにと始めた「ゆきあそびツアー」も、今年で14回目を迎えました。去年に引き続いて参加の親子を始め、お父さんを含む家族の参加が多くありました。

遊んだあと車の運転をしなくていいから楽という方や、自分が若い時にした雪の体験を子どもにもさせてあげたいという方や、祖母と孫の参加もあり、この事業を始めた頃とはニーズが変わってきたことを実感しました。



## ニュージーランドに学ぶ子育て支援

日: 2月8日(土)

会場: 松阪市市民活動センター

参加人数: 29名



### ●第一部〈報告〉

- ・(特)松阪子ども NPO センター 理事長 塩谷明美  
「ニュージーランドに学ぶ子育て支援」
- ・元三重中京大学食物栄養学科 教授 馬場啓子さん  
「子どもの心と体を育む食育 食べることは生きること」
- ・松阪市第四地区住民協議会教育部会 部会長 鈴木逸郎さん  
「人づくりは地域づくり」

### ●第二部 グループトーク

地域ボランティア・行政・教育関係・子育て中のお母さんなど幅広い分野の参加者がありました。

第一部は、子ども自身が考え、決断することをあたりまえにしている環境があり「子どもが主体である」ことが保障されているニュージーランドの視察報告やこ食(個・孤・濃・粉・固・小)が問題の今、バランスの良い食事と家族と食卓を囲むことが子どもの心と身体を育む原点だと食育の視点からの報告、そして地域の子どもは地域で育てようと学校・家庭・地域が協働で取り組んでいる松阪市第四地区住民協議会の実践報告がありました。

グループトークでは、第一部の各報告に対する感想から、自分が地域や家庭においてどう子どもに関わっているのか、これからどんな関わりをもとうとしているのかなどが出されました。

## チャイルドラインチャリティー映画会『かみさまのやくそく』

日: 2月11日(水・祝) 会場: 農業屋コミュニティ文化センター

参加人数: 436名(午前・午後・夜3回上映)



昨年9月に実行委員会を立ち上げ、様々な立場の方が実行委員となり、すべての世代の人に観て欲しいと声かけをしていった結果、親子連れや妊婦さん夫婦、シニア世代まで参加がひろがっていきました。特に午前の会場にはお母さんやお父さんに手をひかれたり、抱かれたりしながら会場に入っていく幼児の姿が多く見られ、これまで取り組んできた4回の映画会で初めての光景でした。

当日のアンケートには、「生まれてくる時、光が見えた」という子どもの言葉は真実だったと思えた」「お腹の中はお風呂の中にいるみたいだった」という子どもの声、「育児や出産に前向きになれた」「自分を大事にしたい、家族を大切にしたい」などたくさんの感想がありました。

たくさんの方々が映画に参加いただいたことと共に、当日のロビーでは、チョコレートやいよかんなどチャイルドラインの運営資金として多くのカンパをいただきました。ありがとうございました。

「トーク会」 日: 2月14日(土) 会場: 花岡地区市民センター 参加人数: 15名

映画会の熱が冷めないうちに、感じたことを語ろうとトーク会を開催しました。映画を観ようと思ったきっかけは様々でしたが、映画の中で、子どもは“神様と約束”して自分の役割を持ち、お母さんを選んで生まれてくると語る子ども達の姿に「自分自身が生まれてきた意味や幸せについて考えてみた」「我が子から教わるのがたくさんある」などの感想がありました。

また、自分はどんな子育てをしてきたかが話題になった時、子どもは自分自身が考え行動する力を持っていることを実例を通して話され、気持ちを共有することができました。同じ時間・場で顔を見ながら今、感じていること・子どものこと・自分のことなどを語りあえるトーク会ができてよかったという声も多く聞かれました。

## 今月のおすすめ図書

多気町立勢和図書館司書 林 千智さん選

『インターネット・ゲーム 依存症』



岡田尊司 著  
文芸春秋  
主な対象 一般向け

『脳内汚染』から10年。子どもたち、そして社会全体にとって貴重なこの10年の間にどんなことが起こっていたのか。著者の発信を感受することなく、当問題がタブー視されていたことを知れば驚く方も多いはず。子どものまわりにいる大人、ぜひ一読、そして行動に！

## ●チャイルドラインMIE

(きいてほしいな・・・)  
子どもの心を受け止める  
18歳までの子ども専用電話

**0120-99-7777**

毎週 月曜日～土曜日  
午後4:00～午後9:00

## ●こどもほっとダイヤル

(助けて！が言える)  
子どもが相談できる  
18歳未満の子どものための相談電話

**0800-200-2555**

毎日 午後1:00～午後9:00  
(12月29日～1月3日はお休み)



## New Zealand®

豊かな自然に恵まれ、人々もおおらかなニュージーランドにおいて、子どもを取り巻く環境は「子どもが今何を必要としているか」という観点から、子どもひとり一人を大切にしているものでした。また、親も自ら学び、地域の中で共に子育てをしている様子がうかがえました。視察先の保育施設では、施設全体の定員が25名で、日本の1クラスよりも少ないことや、4時になったら親が迎えに行ける働き方を社会全体で支えていることなど、うらやましい限りでした。地域や職種によって差はありますが、5時半頃には終業し家に帰るということを聞き、国として人や家族を大切にしている土壌があると感じました。視察からもうすぐ半年になります。視察で見てきた素晴らしいことを、たくさんの方に話し伝えてきましたが、今後は、少しでも地域の子ども・子育て支援に生かしていける事業展開や、しくみづくりへの働きかけをしていきたいと思っております。子どもが豊かに育つ地域社会をめざして！



## 引っ越します！

この度、4月6日より下記へ事務所を移転することとなりました

お近くにお出かけの際はお立ち寄り下さい

今後ともよろしくお願い申し上げます

電話番号が変わります

詳しくは4月号でお知らせします

〒515-0084 松阪市日野町788  
(カリヨンビル1階)

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター



## ●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円

※入会金：300円

2月末会員数 正会員：29名 参加会員：7名 支援会員：83名 賛助団体会員：25団体(29口)

### 【賛助団体会員】

- |               |                   |                            |                |
|---------------|-------------------|----------------------------|----------------|
| ・医療法人 イワサ小児科  | ・医療法人 桜木記念病院      | ・ナガフジ産業有限会社(3口)            | ・医療法人 南産婦人科    |
| ・うれしの 太田クリニック | ・ささおこどもクリニック      | ・はせがわこどもクリニック              | ・医療法人社団 鷺尾小児科  |
| ・おおたクリニック     | ・上瀬クリニック          | ・株式会社 林技建工業(3口)            | ・株式会社 ジェントリー   |
| ・大久保クリニック     | ・医療法人 たるみ内科胃腸科    | ・健康体操 ひまわり会                | ・鎮守の森を夢見る会・その二 |
| ・岡田パッケージ株式会社  | ・医療法人 地主矯正歯科クリニック | ・株式会社 富士土地                 | ・他一団体          |
| ・医療法人 河合産婦人科  | ・東海印刷株式会社         | ・株式会社 フレンズ<br>ミスタードーナツ・松燈庵 |                |
|               | ・東海シール株式会社        | ・松阪市健康体操連絡協議会              |                |

## 特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0043 松阪市下村町1115 (開所日・時間 月～金10:00～17:00)

TEL・FAX 0598-20-1511 ホームページ <http://www.mknpo.jp/> eメール [info@mknpo.jp](mailto:info@mknpo.jp)